

令和2年度適合性審査で要改善事項が付された団体の評価

No.	団体名	評価	審査項目	要改善事項の概要	改善状況の概要
1	公益財団法人全日本柔道連盟	改善	40	・不祥事発生時の事実確認・原因究明・責任者の処分・再発防止策の検討のための体制が不十分。	・職員懲戒規則の改定により、懲戒処分の決定プロセスを明確化。 ・就業規則の改定により、各種ハラスメントのみを対象としていた相談・通報窓口の取扱対象を広げ、各種規程違反、法令違反も対象に含み、職員が利用しやすい環境を整備。
2	一般社団法人 ワールドスケートジャパン	改善	29 35,36	・選手選考に関する規程を策定・情報開示していない。 ・懲罰制度における禁止行為、処分対象者、処分の内容及び処分に至るまでの手続を定めていない。	・選考大会ごとに選考基準を策定し、HPに公開。 ・懲罰規程を策定しHPに公開。
3	一般社団法人 日本CPサッカー協会	改善	35,36	・懲罰制度を整備しておらず、処分審査を行う機関がない。	・懲罰規程を策定しHPに公開。また処分審査機関も設置。
4	特定非営利活動法人 日本障がい者スキー連盟	改善	35,36	・懲罰制度を整備しておらず、処分審査を行う機関がない。	・懲罰規程を策定しHPに公開。また処分審査機関も設置。
5	一般社団法人 全日本視覚障害者ボウリング協会	改善	35,36	・懲罰制度を整備しておらず、処分審査を行う機関がない。	・懲罰規程を策定しHPに公開。また処分審査機関も設置。